



【満開の三春の滝桜】

撮影 粕川偉三男さん

「滝桜の真下から青空をバックに狙ってみました。
正に滝のように桜が流れているようでした。」

レンズに魅せられて

粕川偉三男（昭48政経）

雲ひとつない青空のもと、樹齢千年を超える「三春の滝桜」が満開で迎えてくれました。写真に興味として数十年になりますが、熱しやすく醒めやすい性格の自分としては珍しく長続きしています。

小学生の頃二人の兄の影響でカメラに興味を持ち、高校時代には写真部に入部し現像やら引き伸ばし等を覚えました。高校二年の時に自分で企画した「平林寺」での撮影会を行い、文化祭で作品を発表した事は良い思い出です。清瀬に住まいを決めたのも近くに「平林寺」があつた事と無関係ではありません。大学を卒業、就職、結婚と写真とは少しブランクがありました。二人の子供（男の子）の親となり、また写真を再開しました。二人とも「清瀬幼稚園」「清瀬小学校」「清瀬中学校」とお世話になり、小学生の頃は二人とも少年野球チーム「ジャガース」にお世話になりました。中学時代に長男はラグビー部、次男は野球部でスポーツ漬けの毎日でした。

毎週試合を観戦し、望遠レンズで二人の姿を追いかけたのも懐かしい思い出です。そんな彼らも卒業してしまふと、なにか物足りなさと同時に寂しくもありました。今では彼らの子供達（孫）の写真も撮って楽しんでいきます。出産、誕生日、クリスマス、お正月、運動会、七五三、入学式、etcと爺さんがカメラを担いでの出番があります。

カメラも時代とともに「アナログ」から「デジタル」へと大きく変化しました。私も最近では百パーセント「デジタル」で、「アナログ」の出番は皆無ですが、高校時代から使用したアナログカメラはすべて現役で使えるように大切に保管してあります。デジタルには「記録する」、「保存する」、「検索する」という行為には極めて便利です。皆様も経験がおありでしょうが、アナログのネガの保存、プリントの保存と結構場所をとるものです。しかし古い古されているかもしれませんが、「アナログ」には「デジタル」にはない「良さ」「味わい」「風情」「奥深さ」「諧調の深さ」などが多くあります。便利さの裏側には必ず不便利さがあると思います。

お互いの良いところはしっかりと評価し大切にする心構えが必要かなと痛感する今日この頃です。「カメラ」を「人間」と置き換えてみると、相通じるものがあると感じるの自分だけでしょか。

金山公園には「三春の滝桜」の子孫が植えられているのは皆様ご存じかとは思いますが、今年も満開の時が楽しみで。数十年後には東京の桜の名所になっているかもしれませんね。「台田の桜」「円通寺の枝垂れ桜」「本多の桜並木」と素晴らしい桜が楽しめます。また「カタクリ」「辛夷」も楽しめますね。

清瀬は素晴らしい街です。自然も人も素晴らしい。

校友会も満開の桜のように多くの方々（校友）を惹きつける魅力のある会です。

私は、昨年に校友会に入れて戴き、皆様から温かく迎えられる事に感謝しております。先輩諸氏の足元にも及ばぬ自分ではあります。が、多少のお役に立てられますよう努力してまいります。

清瀬の自然

福島 寛（昭37政経）

武蔵野台地の北部に位置する清瀬市は都心から三十分弱のところ、まだまだ雑木林の緑が豊かに残っています。

そしてそこには、カタクリの群生をはじめとして、希少植物のヒロハノアマナ、トリカブト、ツリフネソウ、ヤマユリ、キンラン、ギンラン等が季節ごとに咲きます。

特に中里緑地保全地域のカタクリの群生は見事で、春にはカタクリまつりを行い、市内外から多くの見学者が訪れます。

松山緑地、中里緑地、御殿山緑地の保全地域や中里一丁目、六丁目他の市有林、その他、農家の協力を得て市でも保有林を指定して、雑木林の存続を図っています。

川に目を向ければ、金山緑地公園、金山調整池を含む柳瀬川沿いは、四季を通じて散歩を楽しむ市民の姿が見られます。

金山調整池は、関東水と緑の百選に選ばれ、たくさん野鳥が飛来し、鳥の宝石カワセミの生息地でもあります。

このような素晴らしい清瀬の自然を、一歩外に出て、満喫してみませんか。

清瀬市内の雑木林や保存市有林、公園などに可憐に咲く「春の野花」



「シュンラン」
台田の杜



「ヒロハノアマナ」



「ワダソウ」柿の下住宅



「カタクリ」台田雑木林



「イカリソウ」中里緑地B



「イチリンソウ」

清瀬市石田波郷俳句大会報告

（校友会が大会運営に協力）

榎谷榮吾（昭46法）

第六回清瀬市石田波郷俳句大会が、平成二十六年十月二十六日（日）に清瀬けやきホールで開催されました。当日の大会運営にわが校友会も協力し大変感謝されました。

「西の松山、東の清瀬」を目指し、石田波郷没後四十年を記念し、二〇〇九年にスタートした大会ですが、年々認知度も上がり、全国から多数の応募があり、また新聞や雑誌にも取り上げられています。

第六回大会には一般の部二一七四句、ジュニアの部六八五七句、新人賞七十編の多数の応募がありました。

記念講演は、若手俳人の神野紗希氏の「波郷の俳句と青春」でした。

石田波郷は明治大学文芸科で学びました。

この大会は、今まで清瀬稲門会の皆さんが全面的に支援していましたが、わが校友会の支援も期待されており、校友より第六回大会から実行委員会副会長に大山恭子さん（俳号細見道子さん）、実行委員に榎谷が加わりました。更に第七回大会からは佐藤房夫さんが実行委員になります。

第七回大会は、本年十月二十五日（日）開催で、俳句の応募期限は七月三十一日となっていますので、校友の皆さんからも多数の応募をお願いしたいと思います。

俳句同好会・紫紺句会活動報告

昨年六月に第一回俳句同好会を開催してから、最近毎月第三日曜日に定例化され、三月で九回目を開催しました。

俳句の初心者でスタートした俳句会なので、校友の

細見道子さん（俳句結社「隗」主宰）に俳句のイロハから教えてもらっています。

今年二月からは句会形式の俳句会にし、「投句、清記、選句、披講、講評、名乗り」といった句会の形式に則って楽しんでいきます。

また、俳句会の後の懇親会も俳句の反省などで盛り上がっています。

現在の同好会の代表は、桎谷、副代表は佐藤房夫さんと粕川偉三男さん、メンバーは十七名です。なお、四月から紫紺句会に改称します。

俳句作りを通して心身の老化を防ぎ、また趣味としても俳句を楽しんでいきたいと思えます。校友の皆さんの参加を歓迎します。

また、今回の会報より俳句同好会会員の作品を掲載しましたので、ご覧ください。

「紫紺俳壇」

◎紫紺句会作品集



「フデリンドウ」
松山緑地

屋下がり踏むをためらふ霜柱 穴田作道

撒く豆を帽子に受くる子らのゐて 新井泰夫

松飾り妻と笑まひし五〇年 今井康之

秋雨に濡れて輝くベニスかな 粕川偉三男

降る雪や街の灯りに吸ひ込まれ 齊藤 強

店先の筆太の文字走り蕎麦 佐藤房夫

牡丹の芽太陽の塔聳へ立ち 島崎 光

生きざまを語る客ゐる春の雪 中西宣二

マスクかけくもる眼鏡や文庫本 中村 曠

寒空に綺羅星数へ明日思ふ 西尾修一

初詣羊の絵馬に孫の文字 福島 寛

豆撒や父の大声家守る 福田信夫

妻留守の米とぐ音や虫の声 桎谷榮吾

母まねて下駄箱に置く柿落葉 丸山 隆

探り出す昔のコートけふの朝 山口 昇

父母もなく長兄逝きて雪の舞ふ 和田人男



「アズマイチゲ」
中里6丁目市有林

ゲートボール同好会「白眉クラブ」活動

今井康之(昭32経営)

清瀬明大校友会ゲートボール同好会は、現在白眉クラブとチーム名を決めてから、週二日を練習日として元町コートに集まっています。仲間はなんだかんだと言いながら結構ゲートボールが面白くなりつつある様です。

昨年はチームとしてボールのセットを購入しましたが、今年はいよいよ試合に出るためにゼッケンを購入、来るべきシーズンに向けて腕を磨こうと張り切っています。

今年になってからの練習は、基本技術をもとにして、更に試合の作戦を勉強すること、いざ試合になると相手チームのボールがどこにある

のかをしつかり把握して味方の勝利に向かってのボール運びを考える頭脳的な作戦が必要になること、選手が協力し合って試合を進めること・・・、こんなことを仲間ワイワイしゃべりながらゲートボールを楽しんでいます。皆さんだんだんのめりこみそうな気配です。

会員の皆さんみなさん！

ゲートボールを始めるなら今ですよ。

いつでも受け付けます。お気軽に見学がてらお出掛けください。

お貸し出しする用具もあります。

(清瀬市ゲートボール連盟会長)

第二回多摩湖一周ウォーキング開催

浅井 廣(昭53文院)

昨年十一月二十九日(土)、第二回多摩湖一周十二kmウォーキングを実施しました。

昨年同様、保険にも入り、看護師も配置し、安全性を配慮して準備しました。

ところが当日は、晴天ではなく今にも雨が降り出しそうな空模様。案の定、スタートして3km付近から雨でしたが、それにも負けず、談笑しながらのウォーキングでした。そして食事後には太陽が顔を出し、堤防からの多摩湖の輝き、その絶景には、参加者一同感動していました。

今回のウォーキングの最大の特徴は、市民の方々が多数申し込みをされ参加された事です。

また、国分寺地域支部の校友二名も参加されました。小学校二年生から八十才の高齢者まで全員が完歩され、「完歩証」を受け取り、拍手の中で終了しました。

そして、市民の方数人が「来年も是非参加したいので連絡ください。」との言葉に私達は嬉しくなり、今年更に多くの市民の方々が参加し、盛りあがる為の努力をし

たいと思いました。

清瀬駅到着後、一般参加の方も加わった「上げ反省会？」は盛り上がり、お互いの健闘と親睦を一層深めることができました。

第三回麻雀大会を開催

福島 寛(昭37政経)

三月四日に明大校友会清瀬地域支部主催による第三回麻雀大会を開催しました。

曇り空の天気でしたが、幸い雨には降られませんでした。場所はいつもの麻雀荘「たんぼぼ」です。

今回は地域支部の会員八名と市内の愛好者八名の十六名による大会となりました。

午前十時スタート、午後四時終了の六回戦を総合得点で競いました。

結果は前回、三位までを清瀬地域支部会員で占めました。今回はどういふ訳か奮わず、清瀬地域支部からは今井康之さんがラッキーセブン賞の七位で入賞されたのがやっとでした。今回は皆さん頑張りました。

清瀬地域支部忘年会・新年会開催

山口 昇(昭30商)

昨年十二月十四日に二十六年年度の忘年会を開催、二十数名の参加を得て楽しく賑々しく進行、最後には恒例の「校歌」を斉唱して終了しました。

なお、その席上、会費不足気味の話があり、参加者からは寄付申し出があり、厚意に甘え募ったところ、一万余千円が集まりました。ありがとうございます。

今年の新年会は、一月十一日、懇談会後にありましたが、一月に誕生日を迎える二名を祝い、大いに盛り上がりました。以降、毎月、誕生会を開くことになりました。

(懇談会は毎月第二日曜日午後開催)

日野地域支部主催「観梅会」に参加して

佐藤房夫(昭和39工)

平成二十七年三月一日(日)日野地域支部主催「京王百草園・観梅会と洋画家小島善太郎(百草画荘)見学」に齋藤、中村、佐藤の三名が参加しました。

百草園で、多摩支部ホームページでお世話になって江面様の出迎えを受け百草園へご案内いただきました。

当日はあいにくの雨でしたが、お蔭で人も少なく、百草園の方の案内と説明を聞きながら梅やつるし雛をみながら散策しました。

梅も満開で、昼食は園内の「松連庵」で談笑しながら蕎麦をいただきました。

その後近くの「百草画荘」を訪ねて見学しました。

今回、他地域支部企画のイベントに参加して良かったと一同感激しながら帰途につきました。



「梅」と「つるし雛」に囲まれ
日野地域支部の皆さんと

また日野の方々との交流できましたことは非常に有意義でした。

日野地域支部の皆様有難うございました。

平成二十七年

地域支部定時総会の開催について

幹事長 和田人男(昭33法)

早いもので、地域支部が設立して四年目を迎えることができました。これも偏に役員をはじめ校友皆様のご協力の賜物でしょう。

地域支部発展のポイントは、校友皆様の積極的な参加にあります。『明治は一つ』の下に肩書を捨て、これまで地域との交流はなくとも、一歩足を踏み出してみませんか。

校友会活動は、生きがいと楽しさの両方を味わうことができます。

また自然と地域の仲間が増え、充実した日々をおくること、これが校友会活動の効果だと考えています。

さて、平成二十七年年度の定時総会は五月十六日(土)午後一時三十分開会、三時三〇分に終了予定、会場は市生涯学習センター(アミュー)六階会議室を予定しています。詳細については別途ご案内いたします。

皆様の積極的な参加で新しい気持ちで平成二十七年年度のスタートを切れるよう期待しています。

平成二十六年度事業計画の推進状況について

平成二十六年度事業計画は、前年度事業計画の実績と反省の基で策定、定時総会で承認されたものです。

本年度も残すところ数日となりました。

現在、新年度の総会に向けて議案書を策定中ではありますが、現在まで遂行してきた内容について状況説明をいたします。

○地域との交流について
一、ゲートボール、研修、練習、試合等を毎月実施

二、麻雀大会、三回実施
三、囲碁教室、元町老人憩の家で毎週火曜日に実施

四、石田波郷俳句大会の支援活動

○第二回多摩湖一周ウォーキング実施

○親睦会（忘年会、新年会、誕生会）実施

○新会員の加入促進、ポスティング実施

○広報誌の発行、第二号、号外の発行

○俳句同好会の定例開催

○地域支部役員会の定例開催

○多摩支部役員会等出席等々

以上、事業計画は、順調に推進しています。

平成二十七年度は、校友会発展に向けて、

他地域支部と共同で新たなイベントを考慮中です。

会員の皆様の積極的な参加を期待しています。

発足五周年記念行事について

丸山 隆（昭40経営）

校友会発足後四年、紫紺句会、ゲートボール「白眉クラブ」、麻雀大会、石田波郷俳句大会参加、ウォーキング大会等々地域に密着した活動をし、よちよち歩きではありますが「清瀬地域支部校友会」も存在感を増してきました。

しかし、限られたメンバーでの活動です。

清瀬市在住の明治大卒業生数約四二〇余名、その二割が校友会会員です。

そして、現在の参加者を考えると少しさびしい

感じがします。

もっと校友会の存在感を高め、「校友会」イコール「明治のOB会」と市民に分かってもらえる様になりたいと思います。そして「明治は一つ」の旗印の基、今後とも皆で「校友会」の独り歩きが出来るようにと思いつながら、現在、五周年記念行事の冠名を掲げた音楽会を企画しています。

現在、候補に挙がっているのは、知名度抜群の「明治大学マンドリン倶楽部」、と最近ブームになっている男声合唱の「明治大学グリークラブ」を「けやきホール」に招いての音楽会で

役員、関係者の中では、何人の方々に来てくれるだろうか、入場料は等々種々難問が山積んでいます。なんとか実現したいと頑張っています。

皆様には決定次第お知らせしたいと思っておりますが、会員、そして校友の皆さんのご協力とご支援をお願いいたします。

会の運営と会員募集のお願い

組織部長 島崎 光（昭31商）

校友会多摩支部は、ほぼ全域に組織づくりが完成し、二十一の地域支部となっております。

清瀬地域支部も今年で発足四年目を迎え、引き続き会員の増加と親睦を図るための組織づくりを進めて行きたいと思えます。

母校は、環境の変化に対応し、中野キャンパスをはじめ各キャンパスの充実を図っています。特に、近年外国人留学生、女子学生が増加しており、女子学生は、全学で三十%、中野キャンパスは五十%を超えています。

多摩支部でも今後の課題として

一、若い息吹を校友会へ、女性の参加促進

二、情報のいち早い共有化を目的に、ホームページ、メールネットワークなど活用した情報コミュニケーションの構築など目標に掲げています。

清瀬地域支部でも同様の取り組みを進めておりますので皆様のご支援ご協力のほど宜しくお願いいたします。



「キンラン」
市内雑木林

発足後三年の思いと今後を期待するところ

支部長 粕谷彌太郎（昭28政経）

おかげさまで広報誌の発行が第三号となりました。地域支部発足以来、四年目を迎えておりますが清瀬地域支部校友の皆様のご協力とご支援の賜と心強く感じております。

昨年は、大山恭子氏（昭45文）との出会いで、俳句の道が開けることになりました。一般的には、固い、難しいとかで縁の遠い文学と近寄りがない『俳句』ですが、お話しによると、当地域とゆかりのあった、そして明大に学んだ俳人石田波郷氏没後四十年ということ、ぜひ俳句の会を推進したいということになりました。大山氏の指導により榎谷さんが音頭をとり十七名余の参加で『紫紺句会』が誕生しております。毎月の役員会も懇談会を兼ねており、役員以外でも奮って参加、発言を頂くよう推進しております。

当地域校友会四二〇余名の内八十五名が参加しております、『白雲なびく駿河台』で学んだ方々の積極参加を願っております。

多摩支部ホームページと 清瀬のブログ「紫紺ネット」

齋藤 強 (昭38工)

昨年五月に多摩支部ホームページがオープンされ十二月より清瀬地域支部も「会報」並びにイベント案内など地域の情報が掲載されるようになりました。

また、これらの情報を清瀬の校友の皆様知らせると同時に校友会への入会を誘うべくブログを立ち上げました。初心者で未熟のため満足に行く内容とは行きませんが何とか情報を配信しております。

皆様のご意見または配信したい情報等がありましたらコメントして頂けたら幸いです。

これからもよろしくお願い致します。

校友会多摩支部ホームページ

(<http://www.neiji-tama.net/kiyose-top.html>)

紫紺ブログ

(<http://blog.goo.ne.jp/tuyosii1940>)

イベント、サークル活動などの情報をタイムリーにお知らせします。

紫紺ネット

『メールアドレス』をご登録ください！

会員同士の交流の場として情報交換、連絡、通知などに利用されています。



「ギンラン」
市内雑木林

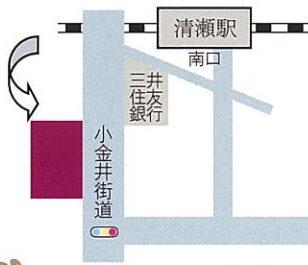
あなたの街の 村越自転車店

〒204-0022

東京都清瀬市松山2-3-3

Tel042-491-0349

村越 勝重(S50 工・建築)



ウオキユウ 日本料理 魚久

お祝い宴席ほか各種宴会を
ご用意しております

清瀬駅 南口 徒歩1分

〒204-0022 清瀬市松山1-9-4

Tel050-5788-8323

定休日 月曜日

そば処 玉川

そば・うどん・丼もの
配達いたします
宴会承ります
(忘年会・新年会・食事会等)

そば・うどんは自家製麺です
揚げたて天ぷらの美味しい店

営業時間 11:00~20:30

定休日 水曜日

住所 清瀬市上清戸2-6-28

(郷土資料館となり)

Tel042-493-3890

(編集後記)

表紙写真は粕川会員撮影の満開の「三春の滝桜」です。また、誌面を飾っている「清瀬の野花」は福島会員奥様である福島良子様のご提供です。清瀬の雑木林には春の花がいっぱいです。もっと沢山お見せできないのが残念です。
ご感想・ご意見などご投稿をお願いします。(H)



「タチツボスミレ」
松山緑地

新会員募集中!

校友会に入って楽しい日々を

現在会員数……八十五名

年会費……二千元

和田(昭33法)

POSターミナルの導入・開発支援など

有限会社 マイテック

粕谷彌太郎 (S28 政経)

本店

〒204-0022 清瀬市松山1-27-1

Tel 042-492-0611

Fax 042-495-8357

本社事務所

〒113-0033 文京区本郷2-40-7

YG30ビル 6F

Tel 03-3813-7761

Fax 03-3813-7763

URL <http://www.a-mytech.co.jp/>